

学校の教育目標「認めあい 支えあい 高め合う」



あゆみ

令和7年9月号
令和7年9月1日発行

八潮市立八潮中学校
八潮市中央1-1-2
TEL:048-996-4219
生徒数 562人

好奇心と勇気

校長 市川 真志

夏休みも終わり、2学期がスタートしました。2学期は、残暑厳しい8月から始まり、寒さが身にしみる12月までと、最も長い学期です。その間、様々な行事も行われます。1日1日を大切にしながら、充実した2学期にしていきたいと思います。

さて、約1ヶ月間の夏休みはいかがでしたか？学校総合体育大会の県大会やオーストラリア海外派遣など、八潮中学校でも多くの生徒の活躍を見ることができました。特に陸上競技部は、県大会でも大活躍し、関東大会・全国大会に出場する選手も出ました。普段の練習の成果だと思います。限られた時間の中で、また、猛暑など厳しい環境の中で素晴らしい成果を出してくれた皆さんを心から誇りに思います。「努力に勝る天才はなし」という言葉があります。努力すれば必ず報われるという訳ではないですが、目標を達成した人は必ず努力をしています。ぜひ、努力をし続けられる人に成長する2学期にしていきたいと思います。



8月中旬、私は妻と2人で食事に行きました。私たちが座った斜め前に、外国人の男性が1人で座っていました。「観光客かな？」と思いながらチラチラ見ていたのですが、1人で日本酒を頼みニコニコしながら飲んでいました。少ししたら外国人の女の人がその前に座り、2人で楽しそうに話し始めました。私がチラチラ見ていたことに気付いていたらしく、こちらを指さしながら話をし、時折手を振ってきたりしていました。私が焼きおにぎりを食べていたとき、その外国人の男性が店員を呼び、こちらを指さしながら英語で何やら話していました。店員は困った顔をしながら私のテーブルにきました。「あちらのお客さんが、何か言っているのですが。」とその店員が言うので、「きっと焼きおにぎりが食べたいのではないですか？」と話すと、店員は厨房に戻り、すぐに焼きおにぎりを外国人のテーブルに出しました。その外国人の男性は、焼きおにぎりを食べながら、私に向かって右手で「グッド」のサインを何度も出してくれました。食事が終わり帰ろうとしたとき、たまたまその外国人カップルと同じタイミングになったので、勇気を出して声をかけてみました。「フェア ドウ ユー カム フロム？」文法を無視した適当英語です。すると、「Australia」と帰ってきました。「オーストラリアか～」とつぶやいた後、「マイ ハネムーン イズ オーストラリア」と言ってみました。すると、女性の方から「Where did you go~in Australia?」みたいな感じの発音が聞き取れたので「エアーズロック グレートバリアリーフ」と言いましたが通じませんでした。妻が全く同じことを言ったら男性が「Oh!」と言って喜んでいました。「私の発音じゃ駄目か」と少し悲しい気持ちになりましたが、楽しい会話の時間でした。今、日本には多くの外国人が来ています。学校で学んだ英語を試す機会が増えているのではないのでしょうか。私のようなデタラメ英語でも、好奇心と少しの勇気があれば、コミュニケーションはできました。修学旅行など、いろいろな場面で外国人と会う機会があると思います。ぜひ、英語での会話に挑戦してみてください。学習を生かすチャンスです。